

## 子どもエコクラブ・はっぱしらべ隊

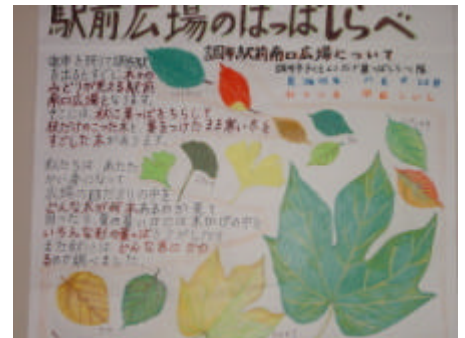
「樹木の働き」を調べてみようということで発足したのが“はっぱしらべ隊”です。

去年は、木と二酸化炭素の関係や、駅前広場の樹木を調べる活動でした。

今年はちょっと場所を広げて「ちょうふのみどりウォッチング」というテーマで、昔の面影がのこる屋敷林・村の安全や豊作を祈るため作られたというこんもりと木々の茂る鎮守の森(社寺林)・川沿いの桜並木・街道沿いの街路樹・崖線に続く雑木林・都市公園のみどり等をたずね遠く景観を望んだり、近くのはっぱにふれてみます。道々の野草を観察していると、時にはヘビや虫の飛び入りもあります。季節毎の自然とふれ合いながら子どもたちと「ちょうふのみどりウォッチング」を楽しんでいます。(前田)

次回のエコクラブは「ちょうふのみどりウォッチング」  
街中の暑さからはなれて、深大寺周辺の「水とみどり」の林と、総合体育館横の自由広場の公園のみどりをウォッチングしたいと思います。

日 程：平成15年8月9日(土曜日)午前9時30分～12時  
集合時間：午前9時30分  
集合場所：深大寺山門前(調布駅北口からバス 深大寺行き 終点下車)  
解散場所：総合体育館横自由広場  
持ち物：筆記用具、帽子、飲み物、お弁当。  
問合せ 調布市環境保全課  
TEL 0424-81-7086



## 調布の自然 水辺...5 ~ 野川流域連絡会 ~

これまで洪水予防を主目的に、三面張りや河床(川底のこと)の掘削などをして来た河川管理のあり方を反省し、流域の市民と一緒に川づくりを見直そうという動きが始まっています。6月22日、調布市のたづくりでシンポジウム「夢を語ろう明日の野川」が開催され100名余が参加しました。主催は野川流域連絡会(事務局：東京都北多摩南部建設事務所)で、一昨年から国分寺～世田谷まで流域7自治体から公募の市民と行政マンがあつまって、野川の将来像・河川整備計画づくりに取り組んでいます。

大都市・東京にありながら湧き水の川として「生きている野川」の悩みは、どうしたら水量の確保ができるかです。しかし、水量が確保できればどんな水でもよいということにはなりません。シンポでは野川にとって野川下水処理場計画は避けて通れないが、「今以上の下水処理水は野川に入れない」こと、「昔からあった水路の復活」「生き物にやさしい川に」など、話し合いの結果が発表されました。

国分寺崖線沿いの開発が進む中で流連の活動は03年9月から3年目にはいります。新公募委員とともに野川への思い・夢を現実に近づけていきたいと思ひます。(江刺)



# 入間・樹林の会

山ユリが咲きました。

山ユリの花

入口近くの2本が1輪ずつですが、見事な花を開きました。

名札を付ける木が決まりました。選ばれたのは、シラカシ、ミズキ、コブシ、エノキ、イヌシデ、アカメガシワ、コナラ、トウネズミモチ、サワラ、クサギ。各々に木の名前とその木を楽しんでもらえるような説明文を付けることになり、次回その作業をします。



1本ずつ番号付けされた入間の木々の位置が図面に記録された樹木マップが完成しました。常緑樹、落葉樹、針葉樹と種別も解るようになっており、今後の管理作業のために大いに役立ちます。

西側の隣接地が作業区域として拡がりました。現在の倍の広さになります。地形はゆるやかな台形状です。外周1m以上の落葉樹が何本もあり、手入れ次第でよき武蔵野の風情を再現出来そうです。来年度の活動計画にどのように組み入れましょうか、皆さんでプランを練りましょう。



山栗の苗を植えます。野草園で育った2年程の苗木が5本移植されます。モモ・クリ3年、来年あたり実を付けるか楽しみが出来ました。

\* 7月の定期作業は方形枠調査をしました。日当たりの良くなった場所には、今迄なかった植物が芽吹いてきていました。

\* 8月の活動日は第4日曜日(24)日となります。お間違いのないように！  
(本)

樹木の高さ測定の練習

## 環境モニター ~ 7月13日ガイドウォーク

7月13日(日) ガイドウォークを行いました。テーマは、歴史的な要素を入れて『近藤勇に縁のある地域を歩く』とし、調布市(野水)と三鷹市(大沢)の境目に7名の参加者をご案内しました。この日のポイントは野川公園の自然観察園、龍源寺、近藤神社、水車経営農家、ワサビ田でした。

野川公園の自然観察園では、葉っぱの半分が白いハンゲショウという植物を観察したり、ちょうど花まっさかりのノカンゾウを観察するなど、自然観察を楽しみました。その後は野川沿いに歩き、参加者の方から崖線からの湧水を溜めている場所を紹介して頂くという、嬉しい予定外がありました。

そしてこの回のメインである龍源寺では近藤勇のお墓の見学をしました。近藤神社とその向かいにある道場あとも見学し、モニターのメンバーからの解説で近藤勇が活躍したのは30歳程度だったことを聞き、改めてその人生に驚きました。

水車経営農家の見学では、解説員から以前は巨大な水車がまわるほど野川の水量があったこと、いつかは水車をまた回せるように野川の水量を増やすための動きをしていきたいことを伺いました。そして最後に見学したワサビ農家の方からは、戦後湧水の量が減ってワサビが作りにくくなったことを伺いました。自然とうまくつきあう生活が残っていることとそれが可能な自然が残されていること、しかし何もなくなるとはそれを続けられないことを改めて感じたガイドウォークでした。(羽生田)



龍源寺にある近藤勇の墓

## 「総合的な学習の時間」に対応する地域プログラム等作成事業

### ・・・1学期を振り返って・・・

3月に新規募集し、4月より始まった2年目の事業は、早くも1学期が終了。短い期間でいろいろなことを経験しました。多様な顔ぶれのメンバーは、たいへんチームワークがよく、和気あいあいとした雰囲気を楽しみながらの活動を行っています。以下にこれまでの活動内容を、簡単に報告します。

#### 人材育成講座

全5回の予定のうち、4回までが終了しました。講座の内容は、以下の通りです。

第1回 4/16「総合的な学習の時間とは」 講師：品田穰氏（『総合学習の手引き』 著者）

第2回 4/25「子どもとのつきあい方」 講師：相原教育委員会指導主事

第3回 5/19「フィールド活動と安全管理（水辺）」講師：岡田淳氏（アースマンシップ自然環境教育センター）

第4回 5/23「身近な仲間 昆虫と親しむ」 講師：小西正泰氏（野川ほたる村）

第5回は、三島次郎氏（桜美林大学名誉教授・多摩川センター代表理事）の「まちかど自然ウォッチング」を予定しています。

#### 小学校授業サポート

- ・調和小学校・・・4年生の総合の時間に、野川での活動を中心に計3回のサポートを行いました。夏休みには、「夏休み野川源流ハイキング」もサポートを行います。
- ・富士見台小学校・・・1年生の生活科の授業をサポートする予定でしたが、第1回目は、残念ながら雨の為に中止になってしまいました。2学期からもまた、継続してサポートする予定です。

#### カード作り・資源調査

総合の時間に先生が利用できるようなものを、現在検討しています。その題材となるような自然環境資源の調査を、多摩川、かに山、野川において実施しました。

## 2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その4 「ハウネン(豊年)エビはどこへ？」



空が重そうにどんよりと曇った7月6日、田んぼの生き物観察会が開かれました。

田んぼの苗は順調に育っている様子で、ひとまず安心しました。

水の中をのぞいてみると、驚いたことに1週間程まえ見に来たときにたくさん泳いでいたハウネンエビの姿がまったく見えません。ハウネンエビは、その著しい発生が豊年の兆しと伝えられてきた甲殻のない15~20ミリほどのエビで、背を下にして泳いでいま



す。上から見ると、規則正しく波状に動いているのが11対の脚で、用意していただいた顕微鏡で確認できました。いなくなった理由は、講師の平井さんによると、生殖を終えた世代が一斉に姿を消したのでは、ということでした。

水の中を目をこらしてじっと見ていると、ミジンコ、ゾウムシ、ミズカメムシ、オタマジャクシなど、様々な生き物がうごめいていました。そしてそれは田んぼにとって非常に大切なことなのだそうです。なぜなら、大きな生物が小さな生物を食べ、糞をする。その糞を微生物が分解し、植物（稲）が摂取しやすい栄養とするからです。

「田んぼはきわめて特殊な環境で、いわば人間が作りだした不自然な自然であり、そこに生物も生きる道を見つけ、持ちつ持たれつすべてが機能している。」という平井さんのお話がたいへん印象に残りました。（受講生 長谷川）



### 雑木林塾 活動

日時：8月23日(土) 10時から15時

集合場所：市役所4階・第4会議室

内容：今年度の講座開校について

今年度の雑木林塾の講座内容を検討します。

募集は9月5日号の市報でおこないます

### 人間 樹林の会 活動

日時：8月24日(日) 午前9時30分から12時

集合場所：入間町地域福祉センター

持ち物：筆記用具

内容：ワークショップ

人間樹林の将来を考える-隣接市有地を含めて

### 2つめの落ち葉だめが完成しました。

7月5日(土)、梅雨のさなかの晴天の日、どんぐり林公園で午前9時30分から富士見町地区協議会主催の落ち葉だめづくりが始まりました。

まずは、渡辺代表のご挨拶。続いて講師の小池さんから手順の説明があり、いよいよ作業の開始です。枠用の太い丸太を打ち込むため穴を掘る人、丸太を打ち込む人、竹を伐採する人、枝を落とす人など全員で役割を分担し作業を進め、正午過ぎに落ち葉だめは無事完成しました。

昼食後は、隣にある、前に作った落ち葉だめから、新しい落ち葉だめに葉を移す作業です。真中から下の部分は肥料化しつつあるので、移す作業をしてもスコップが重くて重くて、10分ほどで息はぜいぜい、最後は、ばてばてでしたが、完成した喜びで、吹き出た汗は心地よく、充実感いっぱいの爽快な気分の日でした。なお、当日の参加者は、富士見町地区協議会の皆さん、講師の小池さん、環境市民懇談会の中原さん、緑と公園課、環境保全課あわせて22名でした。

(A)



### ～富士見町どんぐり林公園～

### <会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
8月4日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 運営委員会
8月7日(木) 18:30~20:30	たづくり3階 301会議室	環境市民懇談会 運営委員会
8月21日(木) 18:30~20:30	市役所3階 第1会議室	人間・樹林の会 世話人会
8月28日(木) 18:30~20:30	たづくり6階 601会議室	環境市民懇談会 連絡会議
8月29日(金) 13:30~16:00	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集・次号企画

### ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。

問合せ・申込み：(尾辻)

[kp5y-otj@asahi-net.or.jp](mailto:kp5y-otj@asahi-net.or.jp)

### 環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようと思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

#### 【編集後記】

自宅から見える貸し農園があつという間に駐車場になってしまいました。想像以上に早いスピードで緑が失われています。自分にできることはなんだろうか。(K)

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424 - 81 - 7086

E-mail：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会